

有機系太陽電池技術研究組合(RATO) GXミーティングで講演しました



講演概要

主催 有機系太陽電池技術研究組合 (RATO)



目的 有機系太陽電池の技術開発と事業化を加速する
設立 2012年
役員
理事長 田中 千秋 (イノベーションオフィス田中)
専務理事 森田 健晴 (積水ソーラシステム)
常務理事 大川 明美 (株式会社アイシン)
理事 早瀬 修二 (電気通信大学)
理事 瀬川 浩司 (東京大学教授)
監事 河本 光明 (広島大学)

RATO組合員 2025年6月1日現在
株式会社アイシン
英弘精機株式会社
NTTアノードエナジー株式会社
大倉工業株式会社
鹿島建設株式会社
共同印刷株式会社
K&Oエナジーグループ株式会社
株式会社合同資源
神奈川県立産業技術総合研究所
芝浦機械株式会社
積水ソーラーフィルム株式会社
タイキン工業株式会社
大成建設株式会社
大日本印刷株式会社
株式会社デンケン

東芝エネルギーシステムズ株式会社
東レ株式会社
TOPPANホールディングス株式会社
株式会社中村超硬
日揮株式会社
日本板硝子株式会社
株式会社日本製鋼所
日本電気硝子株式会社
パナソニック ホールディングス株式会社
富士色素株式会社
ビフレステック株式会社
分光計器株式会社
御国色素株式会社
三井化学株式会社
三菱ガス化学株式会社

日時 2025年6月12日 (木) 15:00~16:00 講演 16:00~16:30 モバイルハウス実車見学
場所 東京大学駒場キャンパス 3号館中2階

講演内容

タイトル ~建築会社とトレーラーハウスビルダーがコラボする“まちづくりモビリティカンパニー”~

(株) オフグリッドフィールドの取り組み

講演者 (株)オフグリッドフィールド 代表取締役社長 廣里 成隆

話題提供: (株)日立ハイテク、三菱地所(株)

アブストラクト

まちづくりモビリティカンパニーを標榜し、2024年に建築会社とトレーラーハウスビルダーの合併会社として設立された(株)オフグリッドフィールドの取り組みを紹介。

自立電源や衛星通信設備をもつオフグリッド型トレーラーハウスを活用して、地域活性化や防災対応などの社会課題の解決を目指す。オフグリッドフィールドはスピードと実現可能性を高めるために異業種コラボレーションを積極的に推進している。特に、オフグリッド型トレーラーハウスの認知度向上のためのフィールドとして、小田原市に整備中の“オフグリッド体験パーク”は、企業連携による「新たなオフグリッド実証と展示」および、地域連携による「地域活性化の実証と展示」のための空間として広くアピールしていきます。